



HomePage



®

SHIZUOKA MUGEN



Mitsun

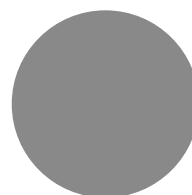
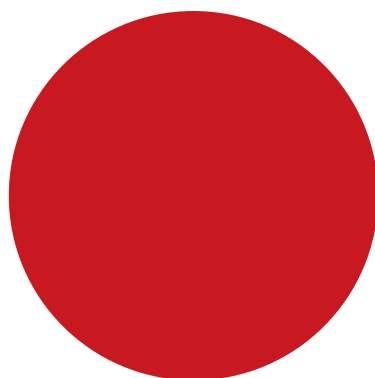


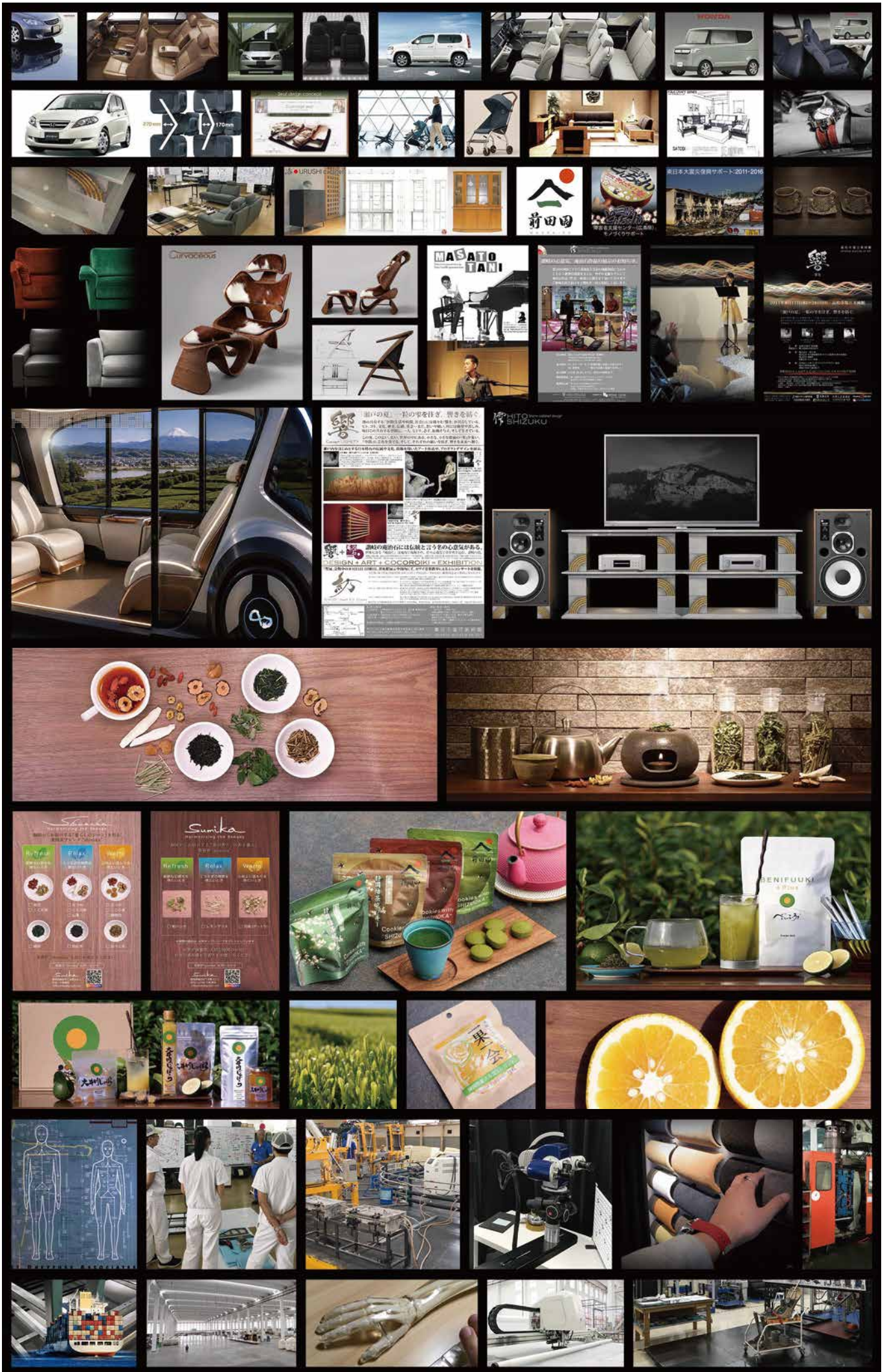
Yasuhisa



Tabutiro Murayama

体感する「可能性」と「価値」





※インハウスも含むデザイン開発

静岡の無限(MUGEN)の可能性を世界へ



DESIGN



PLANNING



SUPPORT



R&D
Research and Development

2025年6月、行政認可を得て『企業組合 静岡MUGEN』を設立。
静岡茶等の農産業をはじめ、製造業・食品産業・伝統産業、また、観光業や産業機械・ロボティクスまで様々な産業やサービスの「困りごと/課題/目的(願い)」の本質を紐解き、持続可能性を "Co-DESIGN" します。

- 目的や機能を両立させる「デザイン」 Beautyity
- 問題や課題を解決する「仕組み」 Systematize
- 人 + 暮らし + 産業を「紡ぐ」 Connect
- 未来を想定する「構想と先行」 Advance

人間中心設計に基づく、○企画開発/○デザイン(感性デザイン)/○問題解決など、"異業種専門家"の多角的な視点と領域を超え横断するワンストップ型の"知の集結(オープンインオベーション)"で、次世代に貢献する新商品開発やブランド設計など仕組みの構築、中小企業の※1.デザイン経営や※2.R&D体制の導入サポート、技術顧問、モノ+コトづくりのコンサルティングまで幅広くご要望にお応えいたします。

※1 ※2 : 「デザイン経営とR&D」のページで説明

産業デザイン領域を担当する代表の井上は自動車や家具など産業を基盤とする開発に従事するインダストリアルデザイナー。約3年前に島田市へ移住。活動拠点の牧之原台地は茶の一大生産地であり素敵な営みの景色が広がる場所です。移住の決め手は、静岡県には長い時を経て育まれてきた唯一無二の「歴史・文化・産業・そして営みや暮らし」があること。これらは静岡（私たち）の宝でありDNAと言えるでしょう。

しかし、様々な課題や問題に直面しています。高齢化の波に飲まれようとする産業、技術革新によるニーズ変化により既存技術の活かし方を模索する企業、潜在的な需要を視覚化し戦略を立てる術がない、AIに頼り翻弄され最適な意思決定ができない、プレゼン資料などで聞き手の心へ響かせる伝達の技がないなど課題は様々です。私たちは「デザイン思考（Thinking）」「人間中心設計の思想（Ideology）」「観察・再現・創造の技術（Creativity）」「知の集結・チーム力（Open Innovation）」を基に課題や問題を解決し「持続可能な未来を創るチカラ」になりたいと考えています。

また、私たちの考える「Co-CREATION」はアイデアを「共考」するプロセス、「Co-DESIGN」は持続可能性に向けて「共創」する未来づくりです。

※開発段階に限定されず、企画やプロジェクトの立案段階からもサポート致します。

活動理念 (Philosophy) は「相互扶助 + 温故創新 + 共創(共考)」。

そして、最も大切なことは「共に"認め合い" + 共に"楽しみ" + 共に"創る"」こと。

様々な「問題や課題の解決」・「未来への願い」に **共創(Co-DESIGN)** で取り組みます。

i don't know what to do.

What should I do!?

喜ばれる
商品や企画を
つくりたい

既存技術で
新たな価値を
つくりたい

ニーズに合う
製品(商品)に
改良したい

顔になる
売れる商品
が欲しい

未来に繋がる
新たな仕組み
が欲しい

ターゲットを
狭めない
戦略が欲しい

デザイン経営に
取り組みたい



企業組合 静岡 MUGEN (SHIZUOKA MUGEN Business Cooperative)
 ~様々な課題を「共考 Co-Creation + 共創 Co-DESIGN」にて解決致します~

- デザイン開発 (プロダクト/グラフィック/ブランド構築/各種開発サポート)
- ※ 開発段階に限定されず、企画やプロジェクトの立案段階からもサポート致します。
- 食品開発 (企画開発や試作のサポート・デザイン開発との連携)
- 静岡茶など農林水産関連 (新プロダクトやシリーズ商品の企画開発サポートなど)
- ※ 茶業に限定せず静岡の「農林水」の課題の解決や持続可能性の企画やサポート
- 市場調査・戦略策定 (トレンド分析/ニーズ分析/競合他社調査/商品戦略など)
- コンサルティング・開発系技術顧問・デザイン経営やR&D導入支援・講演 + 講師
- スタートアップや事業拡大に伴う助言やサポート (伴奏支援)
- 補助金・助成金の申請に伴う助言やサポート (伴奏支援)

Design Development MENU



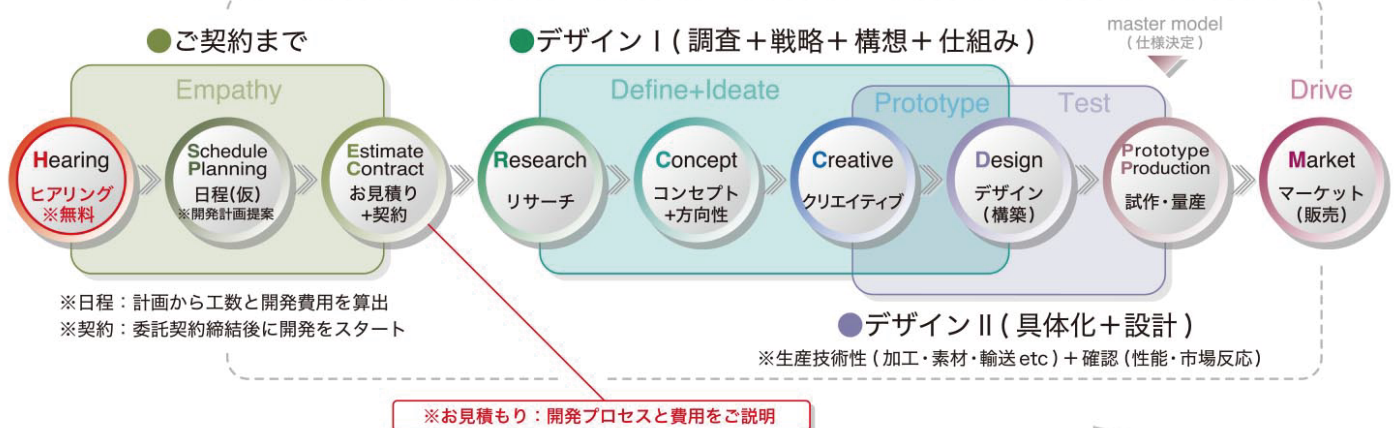
Support MENU

- **コンサルティング・開発技術顧問**
 - ・デザイン経営やR&D導入など個別の支援
 - ・講演 + 講師
- **助成金・補助金申請の助言サポート事業**
 - ・中小企業持続化補助金や先端開発系補助金など申請の伴奏支援

SHIZUOKA The Process from Contract to Development

ご契約から開発までのプロセス

共考 : CO-Creation >> 共創 : CO-DESIGN



Design Process (※例：工業系プロダクト開発/ブランド開発/家具や食品製品/等の企画開発)

プロダクト（工業製品や家具など）、グラフィック、CIやブランドなどの開発

Design

Co-DESIGN/Co-Creation

We organize your ideas and challenges and refine them into designs that achieve your goals. From product design—such as industrial machinery and furniture—to graphic design and photography, we collaborate with you to develop a wide range of design solutions that support your business.

それぞれの想いや課題を整理し、目的を達成するデザインに整えます。工業機械や家具などのプロダクトデザイン、グラフィック系デザイン、フォトグラフまで、事業を支える様々なデザイン開発を共創(共考)で取り組みます。



1

※ 製品や商品の開発段階に限定されず、企画やプロジェクトの立案のスタート段階からサポート致します。可能な限り初期の段階から「共創・共考」することで、課題解決の道が開かれ易くなり、また、モノゴトづくりを心から楽しむことができます。

地場産業、伝統産業、観光などの開発や価値創出

Local resources development

We will identify local resources and potential—such as local industries, traditional crafts, and tourism—and work to create new value and build brands by drawing on the past to innovate for the future.

地場産業、伝統産業、観光業など、地域の資源や可能性を発掘し、新たな価値創出やブランド化に「温故創新」で取り組みます。また、日本の観光資源であり唯一無二の財産である「特有の環境や暮らし」を守る仕組みづくりにも取り組みも行います。



2

※ 【一例】：石材業界の持続可能性への取り組み
○ 次世代プロダクトとシリーズの開発/地域ブランドの開発
○ 高松市主催の展覧会やコンサートの開催/日本インダストリアルデザイン協会後援

食品関連の商品開発
「味」から「上市」までの開発

Food development

We support product development that creates new value, working with food development specialists and designers from the planning stage onward.

地元の素材を活かした洋菓子や和菓子、拡大を目指すシリーズ商品など、企画段階から食品開発専門家と共にデザイナーも入り、新たな価値創造につながる商品開発のサポートを行います。



3

静岡茶など農林水産関連の資源活用商品の開発

Local industry development

With the aim of further revitalizing industries that work in harmony with local resources (such as agriculture, forestry, fisheries, and the Shizuoka tea industry), we will engage in co-creation to pursue new initiatives and experiments—including the development of next-generation machinery and the utilization of resources—rather than limiting ourselves to the development of a single product.

地元の資源と共に歩む産業(農林水、静岡茶産業など)の更なる活性化を目指し、1つの商品の開発に限定されず、次世代機械の開発や資源活用など新たな取り組みや実験を共創にて行います。



4

R&Dによる商品開発、デザイン経営やR&D導入のサポート

R&D

Research and Development

Leveraging our experience in research and development, we will collaborate on R&D projects aimed at establishing future standards for the next 10 to 20 years. We will also provide support for the implementation of design-led management and R&D initiatives.

「R&D」によるモノゴト創りなど、豊富な経験を活かし、10年後、20年後の未来の標準化を目指す「R&D」に共創で取り組みます。また、企業価値を向上させる経営手法である「デザイン経営」や「R&D」の導入のサポートも行います。



5

※ 【一例】：<https://www.shizuoka-mugen.com/home>
最下段へ一例を掲載

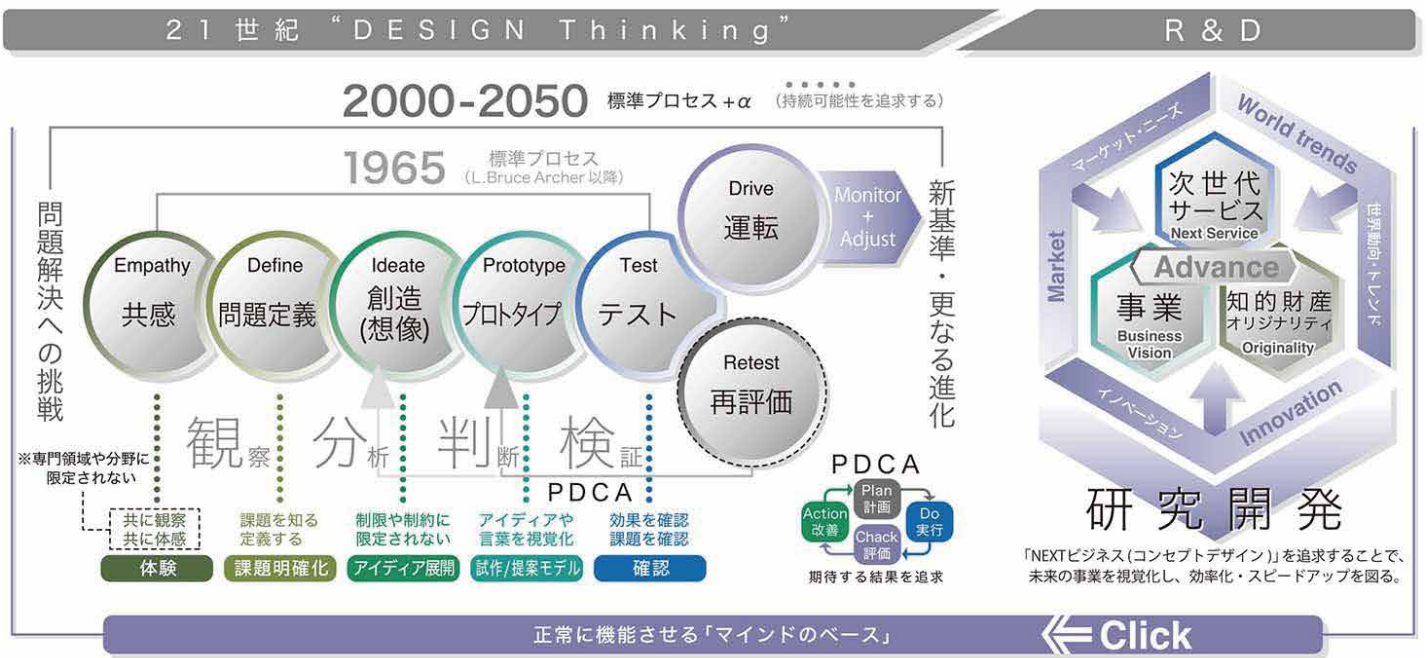
※1. 「デザイン経営」宣言 (2018年5月23日) : 文部科学省・特許庁
 デザインの力(思考法や手法)を経営資源として活用し、ブランド構築やイノベーション創出を通じ「企業価値を高める経営手法」。
 デザイン経営導入において※2."R&D"を体験することは更に近道です。

※2. 「R&D」 : Research and Development.
 新たな技術(等)を研究する「基礎研究/応用研究/独創的研究開発」から、恒久性を追求し長期的な実用を目的とする「量産開発/再設計(ReDesign)」を示す。
 先端のR&Dの現場での製品開発(先行開発/生産技術/実験/デザイン/量産開発など)、企業への導入実績を活かし豊富な経験でサポートいたします。

※R&D(一例) はホームページをご覧ください。

SHIZUOKA Design management

※静岡MUGENの「デザイン経営 (BASIC)」



Copyright © 2025 SHIZUOKA MUGEN  Business Cooperative. All Rights Reserved.

※講演・講義で使用している資料の一部を抜粋

SHIZUOKA Development Approach

※静岡MUGENの「5つ」の開発アプローチ(手段と手法)



※5現 = 現場・現物・現実 + 原理・原則

info 「現場」に入り「現物や現実」を体感し「現場の声」を聞くことを、特に大切にしています。



R&D

静岡MUGEN 代表理事 - Representative Director (CEO) -

Yasuhisa Inoue
1973-



井上靖久：Industrial designer.
工業デザイナー／総合企画開発

Yasuhisa

元 HONDA 自動車デザイナー
元 NITORI 次世代商品開発＋
自動車開発思想の応用PJ主幹

数年後の未来を想定した自動車の企画やデザイン。暮らしへ新たな喜びを創出するインテリアデザイン。地場産業の持続可能性に挑戦する次世代プロダクト。輸送や搬送の効率を向上させる構造、美術館展覧会等のイベントの企画設計やプロデュース、福祉支援等、産業や工業や商業における様々なクリエイティブ経験を有しています。

又、自動車メーカーなど産業をベースとする「R&D」の開発や導入の経験を活かし、ブランド開発から工業機械などのプロダクトデザイン、戦略や将来見通しのある商品企画、グラフィック系デザイン、フォトグラフ、プレゼンテーション支援、事業を支える様々な開発やデザイン経営導入など、静岡MUGEN専門家との連携体制も活かし、幅広くご要望にお応えいたします。
お気軽にご相談ください。

2022年7月埼玉県から鳥田市へ移住。公益社団法人日本インテリアリアルデザイン協会 JIDA (東日本ブロック)所属、一般社団法人日本人間工学会(JES)所属、芸術修士

地域共創デザイン事務所「響」：
HIBIKI PROJECT」主権

JAPAN DESIGNERSサイト
産業デザイン開発について

- 鳥田市産業支援センター「おびさほ」外部専門家 (商品開発・デザイン領域の助言)
- (公財) 静岡県産業振興財団 専門家 (デザイン領域の助言サポート)
- (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 専門家 (デザイン領域の助言サポート)
- 静岡県産品ビジネスパワーアップ支援事業 専門家 (産業デザイン領域の助言サポート)

※上記機関の専門家派遣制度もご利用頂けます。但し規定上「助言」に限定します。

静岡MUGEN 理事 - Union Director (COO) -

Mika Katagiri



片桐美佳：Food Designer.
食品の企画開発デザイナー

Mika

食品メーカーを経て独立。食品関連の商品開発を通して「暮らしの豊かさ」を提案する。また、ブランドベースの料理教室やイベントも行い活動は多岐。
静岡県の豊かな食材や文化を活かし、食品(菓子等)の味/香り/外觀など、包括的な開発や提案を得意とし、特産品の発掘、規格外食材の有効活用などを通じて、静岡MUGENの専門家連携にて地域活性化や持続可能性にも寄与します。食をベースとした「心や暮らしが豊かになるモノ・コト作り」について、お気軽にご相談ください。

管理栄養士、発酵食スペシャリスト、おからこんにやくもマイスター、料理研究家

個人事業「sumika」主権

近年の静岡素材を活かす開発
01. 茶香炉「Sumika」の企画開発
02. 菓膳茶「Shizuka」の企画開発
03. 甘酒新商品や規格外食品活用

Instagram 01: MIKA KATAGIRI
Instagram 02: sumika ocha

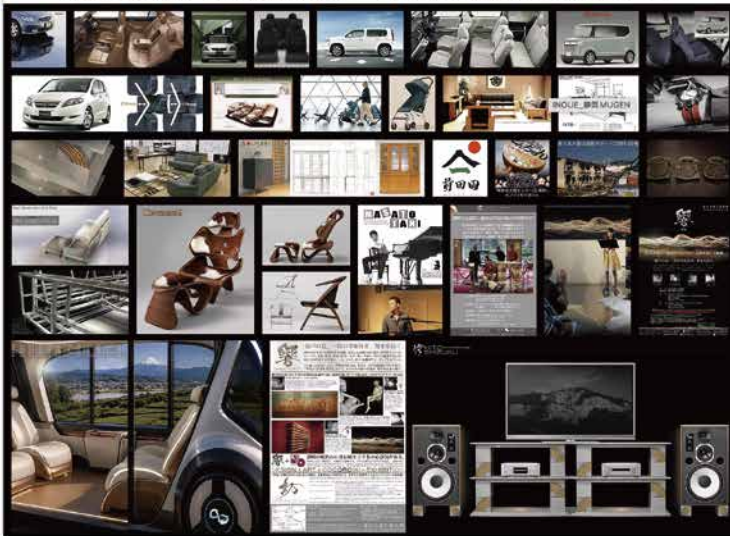
食品開発 (味/食感/香/色彩/材料)：関連プロダクトやPKGの企画設計



企業組合静岡MUGEN：SHIZUOKA MUGEN - 静岡無選

インハウス時代を含む開発活動の一部 (1997～)

自動車/家具/時計/工芸/地場産業/企画/グラフィック系/福祉関連/瀬戸内ART展等イベント



企業組合静岡MUGEN：SHIZUOKA MUGEN - 静岡無選

静岡MUGEN 理事 - Union Director (COO) -

Takahiro Murayama
1970-



村山尊礼：
Community Director.
地域・観光開発ディレクター

Takahiro Murayama

元 NITORIチーフデザイナー
活動拠点：福岡＋静岡＋他

歴史と共に育まれてきた産業や文化をはじめ、地域の未開拓な資源や可能性を発掘し、デザイン思考と洞察力で、新たな価値を魅力的なコンテンツへと編集し、次世代産業や街の活力を生み出す持続可能性の創出に貢献します。

又、FDA(Fuji Dream Airline)で連結される九州は静岡と同じく豊かな地形が広がる街であり、

茶産業/家具産業/工業/工芸/織や柑橘などの食文化、共通点も非常に多い地域であり、大川地区は静岡と同じく家具の産地です。地域や領域に限定されない「コネクト：Connect」する次世代の新たなモノコトづくりも魅力的であると考えています。

過去の常識に限定されない持続可能性や新たな価値の創造 (温故創新)に挑戦しています。



企業組合静岡MUGEN：SHIZUOKA MUGEN - 静岡無選

静岡

SHIZUOKA MUGEN
Business Cooperative

「開発アプローチ」や「取り組み姿勢」(一例)

人体に置き換える「思考」

誰もがイメージしやすい「人体」に置き換える

※井上：自動車開発の応用思考法

骨のある開発

※骨がなければ維持できない
表のみは持続しない

血液・DNA

Priority 2

※アイデンティティ
独自性

骨・骨格

Priority 1

※コンセプト
人間中心設計

肉・筋肉

Priority 3

※仕組み(システム)
機能

衣・ドレス

Priority 4

※外観デザイン
(表面)

PLATFORM DESIGN

隠れたデザイン・仕組み

表面のデザイン・イベント

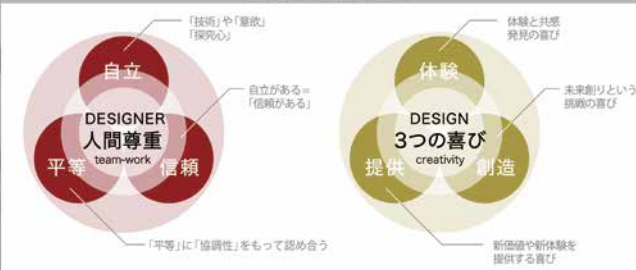
Copyright © 2025 SHIZUOKA MUGEN Business Cooperative. All Rights Reserved.

心 : Heart

1997

マインドのBase

「DESIGN(create)」は観察と共感と共創
「マインド(心持ち)の基盤」



自立：信念にもとづき、主体性をもって行動する。
平等：個々の個性や違いを認め合い尊重し合う。
信頼：他分野、共に学び、共に補い合う。

・体験を共感し発見する喜び
・(提案を)提供する喜び
・挑戦し創造する喜び

※デザイナーに限定することなく、全てのモノづくりに必要な「マインド」
※講演・講義・ワークショップ等で使用している資料の一部です。



北欧家具デザイナー：Hans J.Wegner 氏のご自宅兼事務所。
「デザイナーとしての生き方」を学び、今尚「大切な寶い」。

モノ創りに関わる者は、素材となる地球の恵みに感謝し、
関わる全ての人を平等に愛し、素材と会話し、
(モノ+コトに)命を吹き込む事が「デザイナーの使命」

— 1997年10月 Dr. Hans J.Wegner —

Copyright © 2025 SHIZUOKA MUGEN Business Cooperative. All Rights Reserved.

The Supreme Craftsmanship of Hans J. Wegner

Works from the Oda Collection



織田コレクション
ハンス・ウェグナー展 至高のクラフツマンシップ
2025.12.2(火) - 2026.1.18(日) ヒカリホール (SHIZUOKA)

Hans.J Wegner
1914-2007



“静岡MUGEN” CI(Corporate Identity)について

About the “Shizuoka MUGEN” CI Logo Mark

特許庁 - 商標登録 -
登録番号：第 7044907 号
登録日：令和8(2026)年5月15日



～ 豊かな地形と共に生きる、生命力溢れる街「静岡」～
SHIZUOKA : A city brimming with vitality, living in harmony with its rich topography

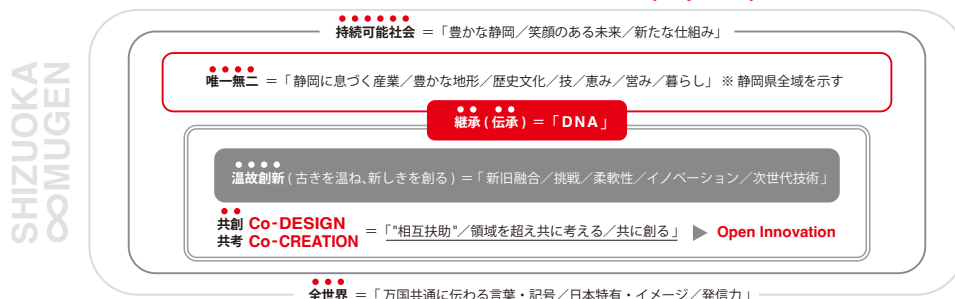
静岡の唯一無二の「歴史・文化・産業・そして営み」を力強く未来へ紡ぐことを目的とし、世界共通の数学記号である「∞ (mugen/infinity)」を採用。又、日本最高峰の富士山のある静岡 (SHIZUOKA) は世界的にも広く認知されている地名であり、法人名の「静岡 ∞ / SHIZUOKA MUGEN」は万国で認識しやすく、示す言葉の意味や活動コンセプトもダイレクトに伝達できるものです。配色は「日本・DNA・伝承」をイメージできるものとし、国内外へ強く発信できるCI(コーポレーションアイデンティティ)として設計しています。

更に静岡の「宝」(歴史・文化・環境・恵み・営み)は長い時を経て形成され育まれてきたものであり、コンピューターによる図形や解釈で表現することは不相応であると判断し、日本の伝統である書による「洗練された匠の筆運び + 時の軌跡」をロゴデザインに表現に用いています。静岡の「歴史・文化・営み」は長期の継承を経て守り継がれてきたものであり、そこには静岡のDNA(伝承)があります。

現代を生きる私たちは、歴史や文化を守りつつ、持続可能な未来を考えなければなりません。地域の皆様と共創(共考)にて静岡の無限大の可能性に挑戦し、世界に誇ることができる笑顔あふれる未来を築きたいと考えています。キーワードは皆様の「無限の挑戦力」そして「温故創新」。

さて… この「静岡MUGEN」CI・Logo Markは命を宿し進化を続けます。山、海、空、街、デジタル空間、未来へ。
(※上記 LOGO MARKはSimple Typeの一例パターン / (商業書道家 CHIEMI作+響: HIBIKI PROJECT Design Studio)

静岡 MUGEN (CI) + Philosophy Map



With the goal of powerfully weaving Shizuoka's unique "history, culture, industry, and way of life" into the future, we adopted the universal mathematical symbol "∞ (mugen/infinity)". Furthermore, Shizuoka (SHIZUOKA), home to Japan's highest peak, Mount Fuji, is a globally recognized place name. The corporate name "Shizuoka ∞ / SHIZUOKA MUGEN" is easily recognizable worldwide and directly conveys the meaning of the words and the activity concept. The color scheme evokes "Japan, DNA, The Inheritance of Traditional Culture," designed as a strong corporate identity (CI) that communicates powerfully both domestically and internationally.

Furthermore, Shizuoka's "treasures" (history, culture, environment, blessings, and way of life) have been formed and nurtured over a long period of time. We determined that expressing them through computer-generated graphics or simplistic interpretations would be inappropriate. Therefore, we employed the Japanese traditional art of calligraphy—its "refined masterful brushwork + the traces of time"—as the expression for the logo design. Shizuoka's "history, culture, and activities" have been preserved through long-term inheritance, embodying Shizuoka's DNA (The Inheritance of Traditional Culture).

We who live in the present must preserve history and culture while envisioning a sustainable future. Through co-creation with our local community, we aim to challenge Shizuoka's infinite potential and build a future brimming with smiles that we can proudly present to the world. The keywords are your "infinite capacity for challenge" and "learning from the past to create the future."

This "SHIZUOKA MUGEN" CI Logo Mark will continue to evolve without end.
To the mountains, to the sea, to the sky, to the city, to the digital realm, to the future.
(※The above LOGO MARK is one example pattern of the Simple Type / (Created by commercial calligrapher CHIEMI + HIBIKI PROJECT Design Studio)